＜人権教育にかかわる年間指導計画＞　６　年

【基本的な考え方】
〇卒業を控えた児童に人権意識を育み、自分も他人も尊重する心情を育てたい。

⇨

【年間指導計画作成のための方針】
〇全児童が人間として他人を尊重し、自分も尊重されるべき存在であることに気づかせ、そのような心情を育むとともに、実際の行動に反映できるようにする。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
学級経営	他の児童を傷つける行動の誤りについて指導。					学級の一人一人が人間として尊重されることを指導。				卒業にあたり、全員がお互いを尊重しあうよう指導。		
各教科・読書科	社会科「日本国憲法」基本的人権の尊重を理解する。		体育科 保健領域「心の発達と不安や悩み」心の発達と不安や悩みへの対処の仕方を知る	国語科「ぼくの世界、きみの世界」人にはそれぞれ、自分だけの心の世界があることに気付く。		社会科「蘭学の発達と腑分けの技術」農民や町民よりも低い身分とされていた人々の優れた技術と社会への貢献を理解する	社会科「明治維新と市民平等」	社会科「全国水平社の創設」差別解消を求める起こったことを理解する。		体育科 保健領域「病気の予防」病気の予防について理解できるようにする。	社会科「日本との関係の深い国々」日本と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解する。	
総合的な学習の時間	新型感染症に対する、偏見や差別、いじめなどへの理解を深め、思いやりのある行動がとれる心情を育てるため、道徳との連携を図る。				偏見や差別の不合理に気付き、それらを解消しようとする心情を育てるため、道徳との関連を図る。		体育科　「体育大会」努力・協力・信頼・友情 「コミュニケーションの方法をさぐろう」（情報）				「ボランティア活動をしよう」（福祉）	
道　徳	学級活動 学級目標を設定する過程で、思いやりの気持ちを育てる。	（思いやり）だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとする心情をもつ。					（公正・公平）だれに対しても公正、公平に接し、正義の実現に努めようとする心情をもつ。		（生命尊重）病気について正しく理解し、誤った知識は偏見や差別につながることに気づく。		学級活動 ６年間を振り返りながら、協力してよりよい生活を築こうとすることの大切さを考える。	
特別活動	１年生との交流							学級活動 思いやりの心をもって友達に接する。	他の人権課題に発展させる。			
学校行事等	入学式 思いやり		運動会 協力・信頼			移動教室 信頼・友情		＜展覧会　１１月＞ 自分らしさ・協力・鑑賞	ユニセフ募金 自らの可能な貢献に着いて考える。			卒業式 感謝・希望
保護者・地域との連携	＜保護者会４･３月＞ ＜地域訪問＞ 家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。		＜道徳授業地区公開講座 ９月 〉 道徳教育について説明 ＜学校公開６・９・10・２月＞ 人権教育について説明		＜個人面談７・12 月＞ 家庭からの連絡と学校からの報告により、家庭との連携を強化する。							